

書 道 I

教科	芸術	単位数	2	学科・学年・組	全科1年（選択必修）
使用教科書	「書I」光村図書				
副教材等	文房四宝等				

「書道I」はどんな科目？

小、中学校の「書写」の学習を発展させ、古典作品や現代的な作品を鑑賞・臨書して、技法の習得を重ねる中で、自分の心を動かすものや、言葉にめぐり合い、自己を意欲的、主体的に表現する書写能力を伸ばす科目です。
 芸術教科は日本のすべての高校生が2単位履修します。本校では1年生で美術Iと書道Iから選択して2単位を履修します。

「書道I」の学習の特徴は？

作品制作の中で、自分の書いたものを作品として意識し、作品、道具を大切にする心を養います。また、日常生活の中にある題材や書作品に触れ、書を身近なものに感じ、愛好する心情を育て、感性を豊かにします。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
1 学期	4	【書写から書道へ】	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の調和を考えながら、書写的な意識にとらわれず自分の意とする表現を目指す。 古典を通して、漢字の変遷や歴史的背景に興味を持ち、筆者の人物像、書風 読み取り、「臨書」する。 臨書を生かした創作をし表現する楽しさを知る。 刻字の作業を通じて文字造形の面白さを味わう。
	5	【漢字の書】	
	6	〈楷書〉唐の四大家より ・九成宮醴泉銘 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑	
	7	〈小楷〉写経 短冊 〈篆書〉・甲骨文・泰山刻石 〈篆刻〉	
2 学期	8	〈隸書〉・曹全碑	<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の違いを理解し、筆者の心情や個性を読み取り、鑑賞を生かした「臨書」をする。 仮名の字源を理解し、仮名特有の美しさを味わいながら、運筆する。連綿、散らし書きを理解し、変体仮名を用いて作品制作をする。 自分の心を動かすものとめぐり合い、古典の臨書で習得した表現技法を生かし、躍動感あふれる運筆をする。
	9	〈行書〉・蘭亭序・風信帖	
	10	〈セラミックボードへの刻字〉	
	11	【仮名の書】 ・仮名の成立と発達 ・高野切 ・寸松庵色紙	
	12	【漢字仮名交じりの書】 ・カレンダー制作 ・年賀状	
3 学期	1	【生活の中の書】 ・芳名録・熨斗紙熨斗袋	<ul style="list-style-type: none"> 書が生活の中で果たしている役割を知る。
	2	・書を使ったデザイン 【まとめ】色紙作品創作	

2 評価の方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	中国・日本の歴史的な作品の知識・歴史的背景を習得する。 様々な書法を習得し臨書作品に仕上げる。	ワークシート 作品
思考・判断・表現	習得した書法を生かし、自己を主体的に表現した創作作品を仕上げる。	ワークシート 作品
主体的に取り組む 態度	書道芸術を愛好し、興味関心を持って取り組めたか。 意欲的、主体的に取り組む、1つの作品に向上心を持ち、継続して根気よく取り組めたか。	ワークシート 作品 授業態度

美 術 I

教科	芸術	単位数	2	学科・学年・組	全科1年（選択必修履修）
使用教科書	美術1（光村図書）				
副教材等	スケッチブック、絵の具 他				

「美術I」はどんな科目？

自己表現の方法は千差万別。描くことや造形を好み得意とする人は、美術の学習を通して絵画、デザイン、立体、鑑賞など、様々な分野で存分に自分を表現して欲しいです。授業では表現活動と鑑賞において、技法習得をはじめ、独自の表現力や感性を磨きます。

芸術教科は、本校では1年生で美術Iと書道Iから選択して2単位を履修します。

「美術I」の学習の特徴は？

多様な表現技法を通して技能の基礎基本を学習します。造形表現ではイメージを具現化するため独自の表現を粘り強く追求します。デザイン課題については、社会との関連を意識してメッセージ性の強い美しい表現を目指します。また、鑑賞では互いの作品をはじめ、美術史や表現の多様性を学習します。伝統と新しい表現の両面から、美術分野の知識と理解を深め、生涯にわたって美術を愛好する心を持てるようにします。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
1 学 期	4	1. オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と美術室の使用法、道具の扱いを理解 ・鉛筆で、明度を意識 ・対象のとらえ方、比率、構図、形態、質感、空間意識など、基本的な素描技法 ・絵画作品の鑑賞 ・色彩の三属性と配色の秩序 ・伝達するためのデザインの工夫と表現
	5	2. 素描・絵画表現基礎 クロッキー、ドローイング デッサン 他	
	6	3. 鑑賞	
		4. 色彩基礎	
	7	5. 平面構成基礎	
2 学 期	8	6. 立体表現基礎 7. イラスト表現 8. 鑑賞 9. イラスト表現	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリングの技法、形態のとらえ方・仕上げ作品 ・テーマと表現の工夫 ・日本の伝統美術の流れ ・グリーティングカード、年賀状の表現の工夫
	9		
	10		
	11		
3 学 期	12	9. 版画表現基礎 10. 作品の整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ・原画作成と作版技法 ・版の刷り方 ・作品鑑賞 ・振り返り
	1		
	2		

2 評価の方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、特性をいかしている。 	学習プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の意図と創意工夫し、考え、主題を生成している。 ・創造的な表現の構想を練っている。 	制作のプロセス 提出作品
主体的に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 	授業態度 学習プリント

